

市の教育ビジョンが目指す学びのまちの姿は、「人と人とがつながり、学びが循環するまち」です。

コロナ禍を経験した私たちは、「つながり」が当たり前ではないことに気づき、その新しい形を模索し、取り入れ、工夫してきました。そして学びや交流の在り方も様々な形が生まれてきています。

こうした芽生えを大切に、市民の皆さんの学びが、さらに「広がり」「超え」「届く」ように、社会教育委員の会議では皆さんと実現していきたいことを5つの提言にまとめました。

国分寺市の学びがより豊かに循環するよう、皆さんと共に取組を進めていければ幸いです。

社会教育委員の会議
(市ホームページへ)



<https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisei/kaigi/1028434/index.html>

私たち(社会教育委員)はこんなことをしています

社会教育委員は、私たちのまちの社会教育の実情を知り、市民の皆さんの声を教育委員会に届ける役割を担っています。

教育委員会から依頼を受けて調査研究を行ったり、提言をまとめたりします。

こんなメンバーで活動しています

地域の活動団体、自治会、学校、福祉の関係者、教育に関する学識経験者など、様々な分野のメンバーで構成されています。

～ご意見等がありましたら、以下の事務局までお寄せください。～

このリーフレットに関する問合せ

【国分寺市社会教育委員の会議 事務局】
〒185-0034 国分寺市光町1-46-8 ひかりプラザ
国分寺市教育委員会 教育部 社会教育課
電話：042-574-4044
E-mail：shakaikyoku@city.kokubunji.tokyo.jp

令和5年6月発行

これからの 社会教育



国分寺市イメージキャラクター
ぶんじぼたるほっち
©ほっちプロジェクト

国分寺市教育委員会
国分寺市社会教育委員の会議

社会教育委員の会議 5つの提言

1 学びの情報や交流が あふれる“場”づくり

子どもから高齢者、障害のある方や
外国籍の方など、多様な人々による
市民会議を発足。「学びが循環するまち」
の未来像を市民の手で描く取組を進めま
す。

2 学びの場における 情報通信技術（ICT）の充実

対面とオンラインを組み合わせながら
学びや交流を深められるよう、社会教育施設
などにおけるICT支援の充実を進めます。



3 地域や分野を超えた 学びの資源の協働活用

社会教育の活動をオンライン上でも
活用できるようにし、地域を超えた
普及・交流や、学校教育との連携などに
活かします。

人と人がつながり 学びが循環するまち国分寺



4 「対面」によるつながりの支援

「肌感覚」「空気感」「雑談」「余白」
対面の交流が持つ、つながりの幹を育める
よう、様々な団体の対面活動の機会の充実
を目指します。



5 つながりを豊かにする人材の育成とチームづくり

新たなつながりを広げていくために、コーディネーターとなる人々の
育成やチームづくりを進めます。

新資格「社会教育士」や地域団体、自治会、教育福祉関係者、ICT技術者など
多様な皆さんから人材を募り、行政職員とチームを組んで、学びやつながりを
促進する体制をつくります。

